

○日本幼稚園協會評議員會

去る十一月二十六日午後四時から日本幼稚園協會の評議員會が開かれました。新たに本會評議員を御承諾下さった、文部省事務官乘杉嘉壽氏、内務省書記官田子一民氏帝國教育會の野口援太郎氏も出席會の發展について種々議する所がありました。湯原會長の挨拶について、各評議員のいろいろの意見の交換に花がさきました。雑誌「幼兒教育」の内容の改善につき、その宣傳につき、又會の諸事業について、文部省の方面も内務省の方面も種々御助力下さるといふお話をもありました。また本會の事業として託児所保姆の養成の機關を設立することについて、具體案をなして、當局の社會事業と協力して實行にうつりたいといふ議も決しました。また、今年は本誌「幼兒教育」が「婦人と子供」の名で世に生れてから丁度二十年目になりますので、明年一月を期して滿二十年の記念祝賀をかねて、一大講演會をひらき、名士の講演とともに、この期を利用して大々的に幼兒の養護、その教育の宣傳をし、特に「子供日」ともいふべき日を定めて、充分、世の注意を促したいといふお話をありました。

特に、目下の急務は、「幼兒教育」購讀者を増し、幼兒保育の聲を大にし、本會の事業の發展を期したいといふことで、明年一月を期して、倍加運動を實行し、各會員が責任をもつて、各々一人づゝの購讀者をつくるといふことを各方面におねがひしたいといふことでした。本邦にこの種の雑誌は、專門的といふ上から云へば、本誌があるのみで、これを、ひらく各家庭にも入れたく過去二十年の間堅實な基礎に充分の経験をつんで來た本誌はこゝに更年とともに、いよいよ時代の要求する使命に向つて、その實をあげたいといふ事が、評議員の方々の一一致した考でした。尙、本會評議員として、新たに

御承諾を得た諸氏は、上記三氏の他に、醫學博士弘田長氏、女高師教授菅原教造氏であります。

尙、當日出席の方々は湯原會長、田子一民氏、乘杉嘉壽氏、野口援太郎氏、日田權一氏、藤井利譽氏他に土川幹事及他の幹事數名でした。

○第二回全國教育雑誌記者大會

日 時 大正十年一月十五日より三日間

會 場 明治會館(神田區仲義樂町)
中心問題 小學校教員俸給國庫支辨促進の方法

◎一月十五日(土曜)會場 明治會館

午前九時開會——午後三時半閉會

一、諸報告

二、議事 小學校教員俸給國庫支辨促進の方法

三、中食 但本大會に於て用意す

四、議事 前議事の續行

◎一月十六日(日曜)會場 同前

午前九時開會——午後三時半閉會

一、議事 議案及協議題に就て

二、中食 但本大會に於て用意す

三、十分間演説 會員有志

午前九時開會——正午閉會

一、議事 前日の議事續行

二、閉會

◎懇親會

十六日午後五時開會 上野精養軒に於て(會費は大會費中より支出)
當日文部大臣を招待す

◎小學校教員俸給問題辨論會

十七日午後五時半より開會 青年會館(神田美土代町)に於て

出演者 主として大會會員中の有志

◎拜觀及參觀

十八日は會期外なれども特に宮城及新宿御苑拜觀、印刷局參觀の豫定なり

◎會費

一、各雜誌均一金拾圓支出の事
但一雜誌二名以上出席の場合は一名を増す毎に金五圓を加ふ

地方は開會第一日持參の事、東京は十一月末迄に納付の事

[附記] 大會出席會員に對する汽船賃金割引に關しては目下交渉中に付決定の上更めて報告す

○第二十七回京阪神聯合保育會

同會は去る十一月十四日京都市公會堂に於て開催。
非常の盛會なりし由。その次第は左の如くでした。

一、一同著席 敬禮
一、唱歌 君が代

一、京都市保育會會長開會之辭

一、報告

一、協議題

(1) 従來其筋に建議したる公立幼稚園の園長保

姆の資格及待遇に付其實施を促すことを重ね

て建議するの件

説明 市町村立小學校教員の受くる年功加俸、休職給、疾病

療治料、免許狀共通等の特典を幼稚園長、保姆にも與へる様規則の改正を希望するものなり。

京都市保育會提出

一、研究題

(1) 幼兒の環境を如何に整理すべきか

大阪市保育會提出

一、研究發表

(1) 幼兒の體溫脈搏呼吸について

神戸市保育會提出

一、講演

奈良女子高等師範學校長

演題 戰後の幼稚園教育 横山榮次君

一、休憩 (晝食)

一、遊戯交換

(1) 秋の蟲 (2) 山の向ふ

以上

神戸市保育會提出

(1) 風車と水車 (2) 時 (3) 時のおぢさん (4) 羽衣

(5) なかのく 小坊さん

以 上

大阪市保育會提出

(1) 電話遊び (2) 行きたい

京都市保育會提出

一、研究發表

(1) 古來京都附近に唄はれたる童謡の蒐集と其研究

作曲に付て

(3) (2) 保育終了兒の小學校に於ける學業成績に付

以上 京都市保育會提出

一、研究題

(1) 幼稚園時代の教育に於て主力を注ぐべき點

如何

説明 フレーベル先生は其崇高なる理想の實現に御努めなさ

いました。モンテッソリー女史は感覺教育を幼兒教育

の基礎と致されたと思ひます、是等の諸先生と時代も

進み土地も違つて居る現代の我が幼稚園の教育は又

其れに應じて新らしい教育の目的を考へその點に主力

を注ぐべきではありますまいか

現在の社會の狀態最近に諸學者の多くの研究によつて明かにせられた幼兒心身の發育状況及皆さんの實際上の御經驗などを基礎として御立論あらんことを切望致します。

神戸市保育會提出

一、協議題

(1) 小學校に併置しある幼稚園に於て保母と訓導を兼務せしむる可否

説明 現代の思想に於て幼兒保育事業と小學校幼學年の教育との連絡を最も緊切の事なりとするは何人も恐らく異論なき所而して此連絡の圓滑を計らんが爲めには保母と小學校幼學年擔任教員とを兼務せしむるを以て最も適當なりとするは現に米國等の例に見るも亦明かりな

我邦目下の狀況に於て幼稚園と小學校との並置せらるるもの渺なからず此場合に於て保母と訓導とを兼務せしむるの途を開くは幼兒保育の效果をして一層有力ならしむる所以にあらざるか若果して適當なりとすれば進んで之れが實行を促進せん事を希望す。

以上

京都市保育會提出

一、研究題

(1) 最も適當と認めらるゝ保育者の服裝如何

以上

大阪市保育會提出

一、京都市保育會長閉會の辭

○第十一回福島縣保育會

同會は、去る十月開催されました。當日の議題等

は左の如くでした。

研究題 會津保育園提出

一、新入園兒ニ關スル取扱方法如何(研究終了)
説明 在來園兒ノ中ニ四歳、五歳、六歳ノ幼兒アリ而シテ新

入園兒ノ中ニモ年長者年少者アリ是等ノ新舊幼兒ヲ如
何ニ取扱ハル、ヤ各園ノ御經驗承リタシ。

二、内辨慶ノ子供ノ指導方法如何（研究終了）

説明 家庭内ニ於テハ非常ニ強ガリ然モ大勢ノ中ニ出テハ大
ニ縮少スル幼兒アリ之が矯正方法ニ付キ御實驗談承リ
タシ。以上

研究題

會津保育研究會提出

一、保育方法中最モ興味ヲ喚起スルモノヲ季節ニ

分チテ調査スルコト（來年度保育會マテノ研究宿題）

説明 幼兒保育ニツキテノ研究ハ頗ル進歩セシヲ以テ保育課程及指導方法モ自ラ異ルベキニヨリ各園ニ於ケル實況

ヲ承リテ改善ノ資ニナサントスルニアリ。

二、幼稚園ヲシテ一層家庭的ニナラシムル方法如何（研究終了）

説明 幼稚園ハ家庭ト學校トノ中間任務ヲ掌ルモノニシテ家庭ノ如ク又學校ノ如キ場所ナルベキニ目下ノ處概ジテ學校的ニ偏スル傾向アリテ自然幼兒ヲシテ窮屈味ヲ感ゼシムルヤノ憾ミアリ之ヲ一層家庭的ナラシムルノ方法此ニ各園ノ御所見承り度シ。

同上

協議題

父母ノ名、自己ノ氏名、自己ノ年齢、町名、辨當ト云フ器ノ材料（例之アルミニ、瀬戸引又ハ塗物ノ如シ）箸ノ材料（例之普通杉、竹、稀レニハ松、桑ノ如シ）數ノ概念（凡ソ二十位ヲ程度トシ）氏神ノ呼稱、寺ノ呼稱、封筒、はがき、鷄（例之白黒其ノ他色々アリテ足ハ何本アルカト云フガ如シ）猫（同上）

説明 是等ノ一部ハ既ニ實習セラレツ、アランモ從來一定シタルモノナク且ツ小學校ニ於テ入學始メ是等ノ中他ニ於テ初步觀念ヲ聞キ取ルノ資料トモナラン故成ルベク或ル程度マテ各園一定シ置クノ必要アラント信ズ。

談話題

年長兒ノ製作ヲ間違テ模倣セル年少兒ノ取扱方法如何（今回ハ保留）

説明 県保育大會ヲシテ一層有效ニ且ツ經費ヲ節約スルタメニ當番幼稚園ニ於テ自炊の宿泊ノ便宜ヲ謀リ而シテ遊戯講習期間等ヲ成ベク延長

スルノ方法ニシテハ如何（委員ノ附記ノ上可決）

説明 折角縣下ノ幼兒保育關係者ノ集合モ一兩日ノ會合ニテ

ハ甚ダ物足ラヌ感アリ然レドモ一方經費ノ許サマル點モアレバ自炊的宿泊ノ便宜ヲ講ジテハ如何ト云ニアリ。

研究題

若松私立幼稚園提出

一、團體的行動ヲナサナル幼兒ノ取扱法（協議終了）

以上

協議題

喜多方幼稚園提出

一、幼兒ノ思想觀念ヲ養成スルノ一助トシテ凡ソ左ノ範圍位ノモノヲ了解セシメ置ク必要ナキ

ヤ（協議終了）

説明 年長兒ノ製作スル稍々複雜ナル摺紙及紙等ヲ年少兒之ヲ間違ヒテ模倣製作シ居ルヲ時々見ル之が間違ラ否定シ正確ニ指導スルヤ又組全體ノ製作スルマテ放任スルヲ可トスルヤ各園ノ御意見承リタシ。

ス。

松山政治提出

幼兒ノ啼泣ニ關スル研究(約三十分位延期)

市立福島幼稚園提出

幼兒ノ發音練習ニツキテノ注意如何(研究終了)

實驗談

幼稚園恩物ニツキテノ注意如何(來年マテ保留)

幼兒ノ身體發達ニ有效ナル手段(同前)

問題

二本松幼稚園提出

分園保育ノ良否如何(中部保育研究會提出)

(來年マテ研究ノコト)

一、幼稚園ニ於ケル生活狀態ソノ他ニ於ケル生活

狀態ト甚シク異レルモノ、矯正策(同前)

二、各園ノ運動會ノ模様承リタシ(同前保留)

三、意志ノ薄弱ナル幼兒ヲ強固ナラシムル保育法

如何(同前保留)

研究題

須賀川幼稚園提出

一、家庭ト聯絡ナク保育シ得ル場合及其效果如何
(延期)

説明 幼兒思想發表上ノ訓練ニ就テハ隨分骨ノ折レル事ト思ヒマス。ソレデ幼兒相互ノ對話、上長ニ對スル對話等ニツキ如何ニ指導スベキモノアルカヲ承リタインデ

二、幼兒ノ對話指導ノ良否如何(同前保留)

説明 幼兒思想發表上ノ訓練ニ就テハ隨分骨ノ折レル事ト思ヒマス。ソレデ幼兒相互ノ對話、上長ニ對スル對話等ニツキ如何ニ指導スベキモノアルカヲ承リタインデ

一、幼兒身體檢查ノ結果ヲ比較的有效ナラシムル良法如何(來年度保育會マテ研究ノコト可決)
説明 各幼稚園デ毎年春季ニ小學校同様幼兒ノ身體檢查シテ居ル事デアルガ、其結果ニツイテハ如何ニ利用シテ、コレヲ有效ナラシメテ居ルカ又如何ニスルコトが最モ效果アルモノデアルカ、適切ナル研究ヲ遂ゲタインデアル。

談話題

一、新入園兒中保育ニ最モ困難ヲ感ズル幼兒ノ種類及其取扱法如何(同前保留)

説明 家庭ニ於テソレド^ル嘸^クラレテ居タ幼兒ガ、幼稚園ト云フ團體的生活ニ入ツテ來テ、幼稚園ノ保育ニ困難ヲ感セシメル幼兒ハ、ドンナ種類ノモノデアルカ之ヲ知ツテ家庭ニ知ラシメ今後訓育ノ参考ニ資シ又一方保育者ハ是等ノ幼兒ヲ如何ニ取扱ツテ其ノ教育ヲ完成ナラシムベキデアルカニ資シタイト思ヒマス。

二、幼兒ノ對話指導ノ良否如何(同前保留)

説明 幼兒思想發表上ノ訓練ニ就テハ隨分骨ノ折レル事ト思ヒマス。ソレデ幼兒相互ノ對話、上長ニ對スル對話等ニツキ如何ニ指導スベキモノアルカヲ承リタインデ

説明 全幼稚園ニ委託セラレ又ハ幼稚園が專斷的ニ爲ス場合等有之要スルニ家庭ト幼稚園トノ交渉範圍ヲ明確ナラシメン爲ナリ。